



REV.9

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

対象期間 2011年7月1日～2012年6月30日 ・ 発行日 2012年8月1日



当社スタッフ（2012年6月8日）

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

はじめに.....	4
1. 組織の概要.....	4
1-1. 事業所名及び代表者氏名.....	4
1-2. 所在地.....	4
1-3. 環境管理責任者及び連絡先.....	5
1-4. 事業内容.....	5
1-5. 事業の規模.....	5
2. 対象範囲.....	6
3. 環境方針.....	6
4. 実施体制.....	7
4-1. 実施体制組織図.....	7
4-1. 役割、責任および権限.....	8
5. 環境目標.....	9
6. 環境活動計画.....	11
7. 環境目標の実績.....	15
7-1. 環境負荷の軽減～全社合算値（本社、青梅分室、三鷹オフィス）.....	15
7-2. 環境負荷の軽減～各事業所（本社、青梅分室、三鷹オフィス）.....	16
7-3. その他の環境目標～全社.....	17

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

8. 環境活動計画の取組結果とその評価	19
8-1. CO2 排出量の削減	19
8-1-1. 電力使用量の削減	20
8-1-2. ガス使用量の削減	21
8-1-3. ガソリン使用量の削減	22
8-2. 上水使用量の削減	23
8-3. 廃棄物・資源物量の削減	24
8-4. グリーン購入	26
8-5. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービス	26
8-6. 社員への環境教育	27
8-7. 社外への働きかけ	28
8-8. その他活動	28
9. 次年度の取組内容	29
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	29
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	30

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

はじめに

株式会社東興電機製作所は 1963 年に創業し、製造部門（医療機器製造および放射線測定装置製造）と、IT に関する様々なサービスを提供する TOKO DS (IT サービス事業部)から成り立ちます。2008 年新年の朝礼にて、今年は環境問題に社員全員が感心を持ち、会社として何ができるか考え、具体的に行動していこうという社長の挨拶から当社のエコ活動は始まりました。同年 6 月、取引先での会合で「エコアクション 21」の存在を知り、当社でも取得を目指して実際に動き始め、2009 年 4 月に認証取得し、現在もエコアクション 21 のシステムに基づいた継続的な環境保全活動につとめています。

1. 組織の概要

1-1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社東興電機製作所 代表取締役社長 坂郷治
エコアクション 21 認証・登録番号： 3504

1-2. 所在地

[本 社] 〒180-0014 東京都武蔵野市関前 4-1-16
[青梅分室] 〒198-0023 東京都青梅市今井 3-4-29 今井ビル 1 階
[三鷹オフィス] 〒180-0006 東京都武蔵野市中町 1-9-5 第一中央ビル 4 階-A

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

1-3. 環境管理責任者及び連絡先

取締役 川本純子

TEL : 0422-55-5055 (代表) FAX : 0422-55-5051

E-mail: salesteam.japan@tokods.com

URL: <http://www.tokods.com/eco/>

1-4. 事業内容

■製造部門

超微細はんだ

超微細加工

医療機器製造

精密機器組立・調整・検査

■IT サービス部門

WEB サイト評価検証サービス

IT 機器検証評価サービス

業務用ソフトウェア開発・販売

技術翻訳サービス

1-5. 事業の規模

設立年月日 : 1963 年 6 月

資本金 : 1000 万円

従業員数 : 26 名

床面積 : 368.766 m² (本社) 66 m² (青梅分室) 86.1 m² (三鷹オフィス)

5

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

2. 対象範囲

認証・登録範囲：株式会社東興電機製作所 本社、青梅分室ならびに三鷹オフィス

環境活動レポートの対象期間： 2011 年 7 月 1 日～2012 年 6 月 30 日

発行日： 2012 年 8 月 1 日

3. 環境方針

株式会社東興電機製作所は、医療機器の製造、放射線測定装置の製造および IT に関する様々なサービスを提供している環境負荷の低い事業所です。

次世代に豊かな地球環境を引き継ぐため、社員ひとりひとりが楽しみながら、環境保全活動に取り組んでいきます。

- (1) 製造工程、IT サービス業務で使用する電気消費量の削減に取り組めます。
- (2) 社員全員が会社の環境負荷を把握し、省エネルギー・廃棄物の削減に努めます。
- (3) 社員全員が環境保全に対する意識向上に努めます。
- (4) 社外に環境保全活動の重要性を発信していきます。
- (5) 環境に関する法規制や条例および当社が合意するその他の要求事項を遵守します。
- (6) 製品不良率の削減、早期納品、および IT 技術の活用による業務効率化により、環境負荷の低減に取り組めます。

平成 24 年 8 月 1 日

株式会社東興電機製作所

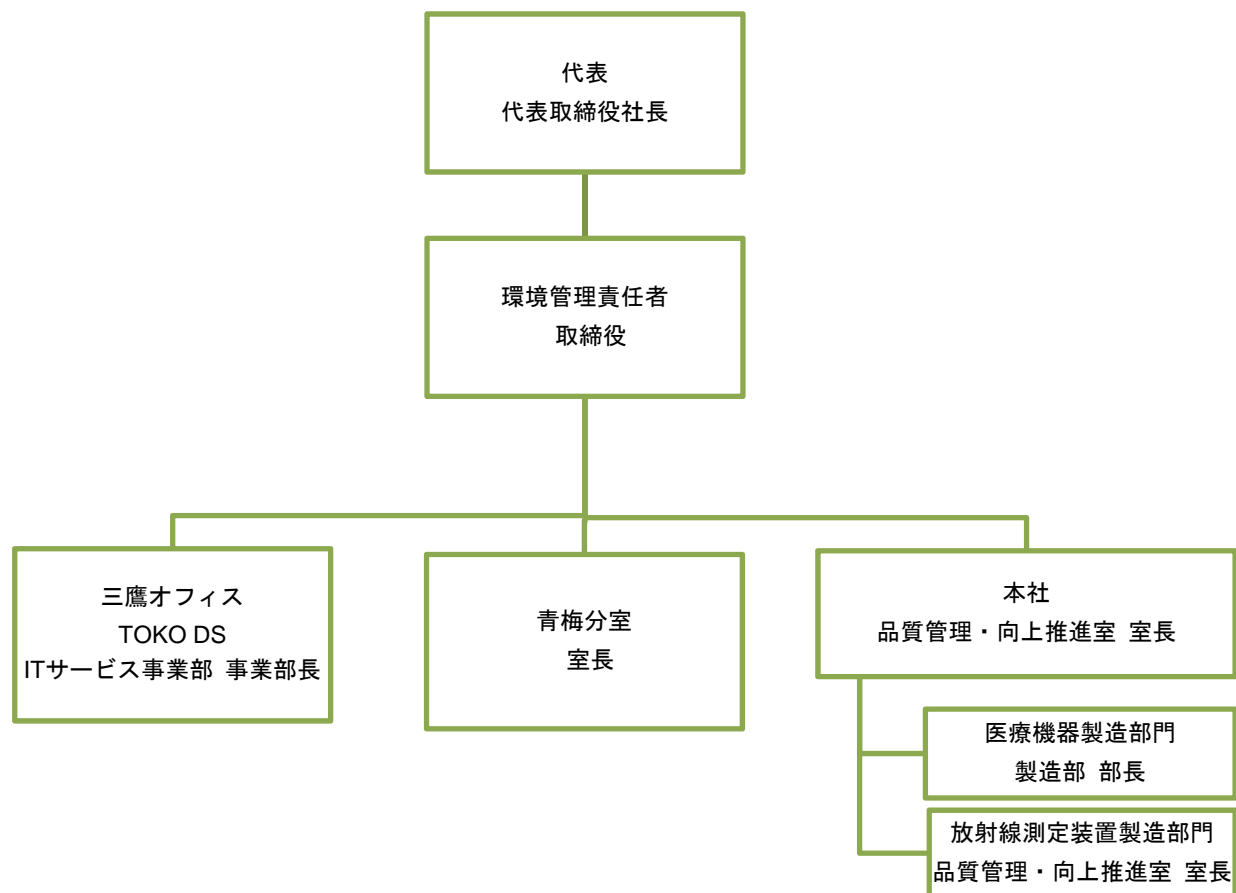
代表取締役社長 坂郷治



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

4. 実施体制

4-1. 実施体制組織図



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

4-1. 役割、責任および権限

代表	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ。
	②環境方針を承認、周知する。
	③資源（人・もの・金）の決定権を有する。
	④定期的に EA21 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。
	⑤環境管理責任者、環境運営委員等を任命する。
環境管理責任者	①EA21 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し、環境面の実績の向上をはかる。
	②上記結果を代表者へ報告する。
	③EA21 書類の承認、決済を行う。
	④環境委員会の委員長として環境保全活動全般の舵取り、実行推進を行う。
	⑤資源（人・もの・金）の承認を行う。
	⑥環境委員、部門代表者を指名する。
	⑦社外からの苦情などの環境管理情報を受理、記録する。
	⑧その他環境マネジメントシステムの確立、実施、維持及び管理に関し必要な業務を行う。
環境運営委員会	①環境方針の作成、見直しを決定する。
	②環境マネジメントシステムの運用管理に必要な、人的資源、技能等の準備を行う。
	③環境管理責任者を指名し、環境マネジメントシステムの確立、実施、維持等に関する業務及び、環境マネジメントシステムの実績に関し本会議に報告する業務を行う責任及権限を付与する。
	④環境への負荷の自己チェックを実施する。
	⑤環境への取り組みの自己チェックを実施する。
	⑥環境目標の設定及び環境活動計画の作成、見直しをする。
	⑦環境マネジメントプログラムの作成及び改定をする。

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

	⑧環境管理体制の整備をする。
	⑨環境マネジメントシステムの見直しをする。
	⑩環境管理委員会の円滑な運営のための各部門内の連絡・調整をする。
部門責任者	①環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う。
	②環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する。
	③社内外の環境情報の収集と伝達をする。
	④環境活動計画の見直しを提言する。
全社員	①部門責任者の指示を受けて、環境目標、環境活動計画の達成を行う。
	②部門責任者の指示を受けて、エコ活動の実施を徹底する。

5. 環境目標

環境負荷の低減				
大項目	対象項目	2010 年度環境目標	2011 年度環境目標	2012 年度環境目標
CO2 排出量の削減	(kg-CO2)	基準年（2009 年度）排出量実績 に対し、1%削減	基準年排出量実績に対し、1%削減	基準年排出量実績に対し、1%削減
		26,369	31,697	31,380
	購入電力使用量の 削減	基準年（2009 年度）使用量実績 に対し、1%削減	基準年使用量実績に対し、1%削減	基準年使用量実績に対し、1%削減
		(kWh)	59,545	53,094
	都市ガス使用量の	基準年（2009 年度）使用量実績	基準年使用量実績に対し、1%削減	基準年使用量実績に対し、1%削減

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

	削減	に対し、1%削減		
	(m3)	831	922	912
	ガソリン使用量の削減	社用車一台あたり 基準年(2009年度)使用量実績 に対し、1%削減	社用車一台あたり 基準年使用量実績に対し、1%削減	社用車一台あたり 基準年使用量実績に対し、1%削減
(L)	2,953	3,798	3,760	
総排水量の削減	水使用量の削減	基準年(2009年度)使用量実績 に対し、1%削減	基準年使用量実績に対し、1%削減	基準年使用量実績に対し、1%削減
	(m3)	205	210	208
廃棄物・資源物量の削減	一般廃棄物の削減	基準年(2009年度)排出量実績 に対し、1%削減	基準年排出量実績に対し、1%削減	基準年排出量実績に対し、1%削減
	(t)	927	1,457	1,442
	紙の資源物量の削減(資源ごみ)	基準年(2009年度)排出量実績 に対し、1%削減	基準年排出量実績に対し、1%削減	基準年排出量実績に対し、1%削減
(t)	847	2,108	2,082	
グリーン購入				
<p>●グリーン購入(エコマーク製品の購入)に努める。文房具(具体的に製本テープなど)は再生原料のものを優先して購入するようにしている。コピー紙はまだ購入に至ってないが、植林木パルプを使用したものに切り替えている。</p>				
自らが生産・販売・提供する製品及びサービス				
<p>●技術向上による品質向上で不良品を出来る限りなくし、早い納品を目指して余計な電力などを減らす試みに努める。</p>				
社員への環境教育				

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

中長期環境目標

- 社員全員が環境方針を理解し、積極的に環境活動計画を実行するよう教育する。
- 社員の環境関連資格取得の支援をする（3～5年後取得目標）。

社外への働きかけ

中期環境目標

- 環境保全活動を当社 Web サイトで公開し、環境保全活動に対する Web コンテンツの充実を図る。
- 社外に対して特に Web を通して環境コミュニケーション活動の場を提供し、環境保全活動への意識啓蒙、情報発信に努める。

6. 環境活動計画

取組事項	取組詳細	担当	実施時期	
環境負荷の低減				
C02 排出量の削減	取組事項の説明(教育) 電気、灯油、ガス、ガソリンの使用量削減の活動計画を取り組むことによって、C02 の削減を行う。	環境運営委員会		
電力使用量の削減	不要照明の消灯	お昼休みに消灯する	全社員	毎日
		不要な電気はこまめに消す	全社員	随時
	周辺機器の節電	OA 機器は使用しない時は電源を切るか省電力モードに設定する	全社員	随時
		離席するときにはパソコンをスタンバイモードにする	全社員	随時
		暖房便座は夏季は電源を落とし、使用後は蓋を閉める	全社員	随時

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

	室内温度調節の徹底	冷房温度を 28°C±1°C、暖房温度 20°C±1°C に設定し、クールビズ、ウォームビズを実行	全社員	随時
		窓に蔓性植物の栽培をし、日光を防ぐ	社員	5月～9月
		窓に日よけを設置し、夏季は日光を防ぎ、冬季は暖気が逃げるのを防ぐ	全社員	随時
	適切な資源の選択、設定	新しく購入する電球は省エネ効果の高いものを選ぶ	環境運営委員会	随時
		使用場所、用途に適宜応じた電球や電気器具を選ぶ	環境運営委員会	随時
ガス使用量の削減	室内温度調節の徹底	ガス暖房は 20°C±1°C に設定し、ウォームビズを実行	全社員	11月～3月
ガソリン使用量の削減	車輛の点検整備の徹底	タイヤの空気圧が適正に保たれているか乗車前に確認する	車両使用者	車両使用時
		使わない荷物を降ろす	車両使用者	車両使用時
	エコドライブの実践	おだやかな発進、加速をこころがける	車両使用者	車両使用時
		目標に近づいたら早めにアクセルをゆるめる	車両使用者	車両使用時
		慣性走行を活用する	車両使用者	車両使用時
		経済速度で運転する(一般道 40km/h、高速道路 80km/h)	車両使用者	車両使用時
		十分な車間距離をとって速度の変動をなくす	車両使用者	車両使用時
		アクセルを離して減速開始ポイントを早めにする	車両使用者	車両使用時
	駐車時のアイドリングはやめる	車両使用者	車両使用時	

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

			クーラーの使用は控える	車両使用者	5月～9月
			暖機運転をしない	車両使用者	11月～3月
		適切な資源の選択、設定	公共交通機関での通勤を心がける	全社員	随時
上水使用量の削減	節水の徹底		水道使用中、水をだしっぱなしにしない	全社員	随時
			水道の水をだしすぎない	全社員	随時
			水道の蛇口を使用後、しっかりしめる	全社員	随時
			水道の水を、こまめにとめる	全社員	随時
			水漏れのチェックをする	環境運営委員会	随時
廃棄物・資源物量の削減	分別の徹底		ゴミの分別を徹底する	全社員	随時
	3R(リデュース、リユース、リサイクル)の徹底		社内文書は両面印刷、省インクモードで印刷する	全社員	随時
			社内文書は裏紙を利用する	全社員	随時
			マイ箸持参を心がける	全社員	随時
			使用済みインクカートリッジは業者指定のリサイクル店に持っていく	環境運営委員会	随時
	排出量の把握		ゴミを捨てるたびにその量を計測、記録する	ゴミ捨て担当者	ゴミ捨て時
グリーン購入					
鉛フリーはんだへの切り替え			鉛フリーのはんだに移行する(*但し、顧客側の依頼により対応不可あり。)	製造部門責任者	随時
グリーン購入(エコマーク製品の購入)に努める			新しく作成する名刺には再生紙を利用し、再生パルプ率を明記するようにする	購入担当者	名刺作成時
			新しい備品を購入する際に、環境への負荷を考慮した製品を購入する	購入担当者	購入時
			社内の用紙は再生紙を使用する	購入担当者	随時

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

自らが生産・販売・提供する製品及びサービス				
配送方法の効率化	顧客への納品や製品（仕掛品や原材料等）の受け渡しの際の配送を可能な限り共同配送便を利用し、効率化する * 原材料については、発注元よりすべて支給されるため、独自に環境に配慮した原材料を調達するのは現状難しい。			
社員への環境教育				
環境教育	環境活動の活性化	社員が集まる場所に環境コーナーを作成し、ポスターの掲示、関連書籍の書架を設置する	環境運営委員会	随時
		環境活動計画に関連する啓蒙ポスター、ステッカーを作成、掲示する	環境運営委員会	随時
		環境に関するコラム、クイズなどの通信を発行する	環境運営委員会	随時
		月毎のエネルギー使用量をグラフ化、掲示する	環境運営委員会	随時
		社員の環境関連資格取得を支援する	環境運営委員会	随時
社外への働きかけ				
社外への働きかけ	情報公開、環境活動の推進	環境方針を自社 Web サイトに掲載する	環境運営委員会	随時
		環境関連情報を自社 Web サイトに掲載する	環境運営委員会	随時
		環境保全活動について関連会社、取引会社に公表紹介する	環境運営委員会	随時
		正式書類以外は、社外から当社への文書に関しても裏紙や両面印刷を薦める	環境運営委員会	随時
		シンガポールの関連会社にも環境活動計画に参加してもらう	環境運営委員会	随時

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

7. 環境目標の実績

7-1. 環境負荷の軽減～全社合算値（本社、青梅分室、三鷹オフィス）

環境負荷の低減						
項目	2011 年度目標 基準年に対する削減率 (%)	本社、青梅分室、三鷹オフィス 合算				
		(基準年) 2009 年度 実績	2010 年度 実績	2011 年度 実績	前年度比 削減率 (%)	(参考) 基準年比 削減率 (%)
CO2 排出量 (kg-CO2)	-1%	24,109	26,369	31,697	20.2	23.9
電力使用量 (kWh)	-1%	39,660	59,545	53,094	-10.8	25.3
ガス使用量 (m3)	-1%	499	831	922	11.0	45.8
ガソリン使用量 (ℓ)		2,671	2,953	3,798	28.6	29.6
社用車一台あたりのガソリン使用量 (ℓ)	一台あたり -1%	890	984	1,266	28.6	29.6
上水量 (m3)	-1%	204	205	210	2.4	2.8
全一般廃棄物量 (t)	-1%	1,110	927	1,407	51.8	21.1
紙の資源物量 (t)	-1%	1,021	847	2,028	139.4	49.6

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

7-2. 環境負荷の軽減～各事業所（本社、青梅分室、三鷹オフィス）

環境負荷の低減							
項目	2011 年度 目標	本社			青梅		
	基準年に対する削減 率 (%)	2010 年度 実績	2011 年度 実績	前年比 削減率 (%)	2010 年度 実績	2011 年度 実績	前年比 削減率 (%)
CO2 排出量 (kg-CO2)	-1%	22,747	22,747	-0.7	3,470	5,339	53.9
電力使用量 (kWh)	-1%	53,094	35,277	-36.0	4,383	8,187	12.0
灯油 (L)	-100%	0	0	-100.0			
ガス使用量 (m3)	-1%	831	919	-30.1			
ガソリン使用量 (ℓ)		2,318	2,809	21.2	635	990	55.8
社用車一台あたりのガソリン使用量 (ℓ)	一台あたり -1%	1159	1,404	21.2	635	990	55.8
上水量 (m3)	-1%	187	160	-14.4	18	50	177.8
全一般廃棄物量 (t)	-1%	1,407	927	51.7			
紙の資源物量 (t)	-1%	847	2028	162.1			

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

7-3. その他の環境目標～全社

グリーン購入	
<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入（エコマーク製品の購入）に努める。文房具（具体的に製本テープなど）は再生原料のものを優先して購入するようにしている。 ・コピー紙はまだ購入に至ってないが、植林木パルプを使用したものに切り替えている。 ・新しく作成する名刺は再生紙を利用するようにした。 	
自らが生産・販売・提供する製品及びサービス	
<ul style="list-style-type: none"> ・顧客への納品や製品（仕掛品や原材料等）の受け渡しの際の配送方法を可能な限り削減し、効率化した。（共同配送便をできるだけ利用した。） 	
社員への環境教育	
「社員全員が環境方針を理解し、積極的に環境活動計画を実行するよう教育する」について	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のエネルギー使用量、CO2 排出量のグラフを掲示し、社員がエネルギー使用量や CO2 排出量を知り、関心をもてるようにした。 ・節電や節水などの呼びかけステッカーを、引き続き掲示し、日常生活の中で環境計画の実行徹底するようつとめた。 ・エコドライブのマニュアルを車内に常設し、乗車するときにはいつでも確認できるようにした。 ・廃棄物、資源物を捨てる際には、量や袋数を確認し、定期的に記録することで、廃棄物量・資源物量を把握することを継続。 ・ペットボトルのキャップを回収し、途上国へのワクチン代などに利用するエコキャップ運動を継続的に実施。 ・日のあたる窓際に、日よけを設置し、日光を防ぐ試みを行った。（本社、三鷹オフィス）
「社員の環境関連資格取得の支援をする（3年後取得目標）」について	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、具体的に、社員に資格取得の支援の呼びかけを行えなかった。 ・今後、取得できる環境関連の資格を社員に知らせるとともに、資格取得の意欲を引き出していきたい。

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

社外への働きかけ

<p>「環境保全活動を当社 Web サイトで公開し、環境保全活動に対する Web コンテンツの充実を図る」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、当社 Web サイトに当社の環境方針、環境目標、環境レポートを掲載した。 ・Web サイトでは、エコアクション 21 について説明し、エコアクション 21 の活動を知らせたり、環境負荷の低減への取組み方法を紹介したりしている。
<p>「Web を通して環境コミュニケーション活動の場を提供し、環境保全活動への意識啓蒙に努める」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Web を通しての環境コミュニケーション活動をどのように行っていく方法を模索中。

* 青字：目標数値を達成。赤字：目標数値に未達

* 社員平均人数：2009 年度 23 名、2010 年度 21 名、2011 年度 26 名

* 社用車台数： 2009 年度（本社）1 台 （青梅分室）1 台
 2010 年度（本社）2 台 （青梅分室）1 台
 2011 年度（本社）2 台 （青梅分室）1 台

* 購入電力の排出係数については、平成 22 年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：0.375kg/CO2（東京電力）で計算した。

* 青梅分室は、2007 年 10 月より開所した。

* 三鷹オフィスは、2011 年 8 月より開所した。

* ガスは、本社のみで使用。

* 紙、一般廃棄物について：青梅分室は家庭に持ち帰り処分したため記録なし。

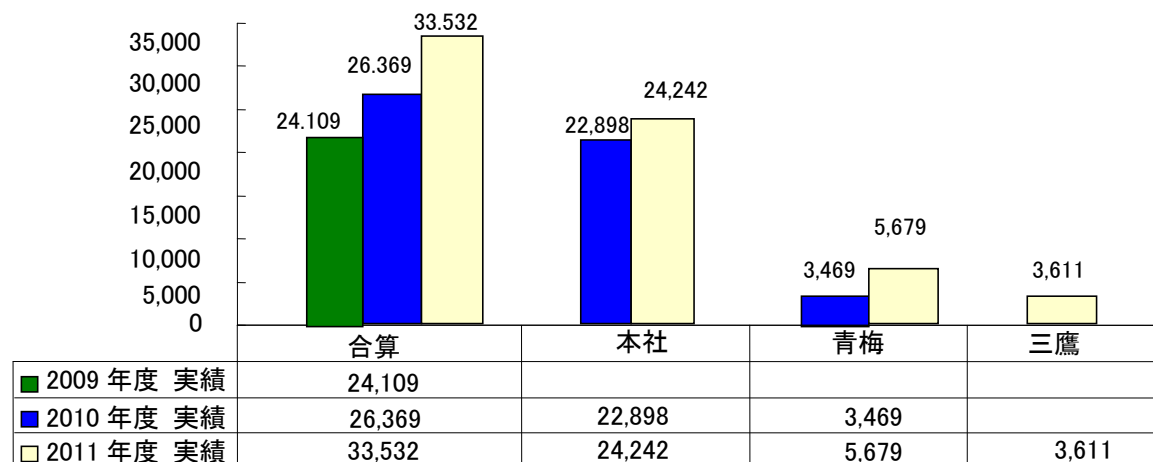
(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

8. 環境活動計画の取組結果とその評価

8-1. CO2 排出量の削減

環境活動計画 取組項目	取組結果	評価
取組事項の説明（教育） 電気、灯油、ガス、ガソリンの使用量削減の活動計画を 取り組むことによって、CO2 の削減を行う。	×	・朝礼で話すとともに、エコアクションコーナーを利用して、取 組み事項を周知するようにした。
環境管理責任者 評価		・電力使用量は削減出来たのだが、残念なことに CO2 排出量は増えた。ただし、青梅営 業所の業績があがったことと、三鷹営業所が業務を開始したことが背景にあるので悪い ことばかりでないといえる。これからは人数が増えたことや事務所が増えたことを念頭 におき、更なるエコに励む必要があると思われる。

CO2 排出量(kg-CO2)



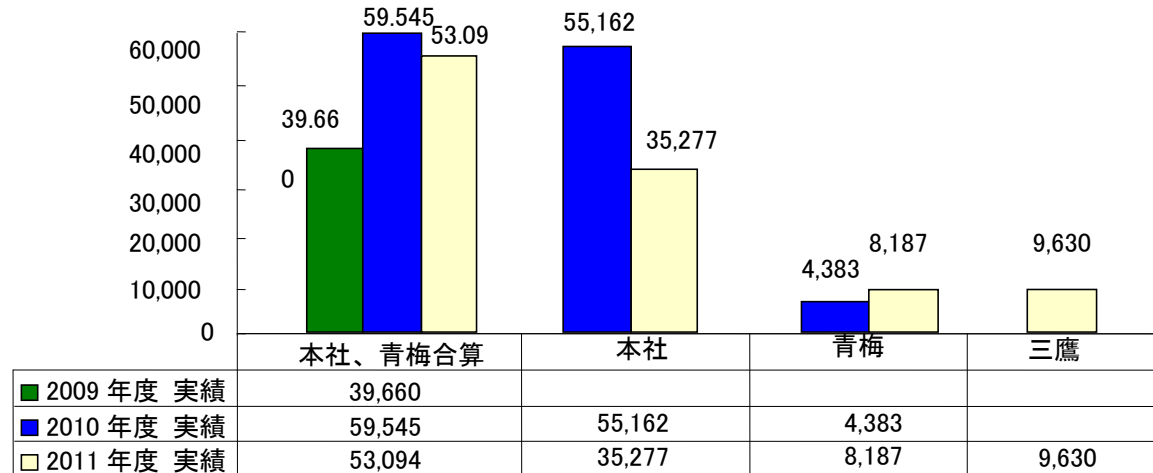
(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

8-1-1. 電力使用量の削減

環境活動計画 取組項目	取組結果	評価
不要照明の消灯	○	・社員の意識が高まり、かなりよく実施できていた。
周辺機器の節電	○	・OA 機器を使用しない時に電源を切ることや、省電力モードやスタンバイモードにして席を外すことが、少しずつ行えるようになってきた。今まで使用していたサーバーの撤去が非常に大きな節電になっている。
室内温度調節の徹底	○	・夏場、28℃±1℃を保つことがなかなか難しい。本社と三鷹オフィスでは、窓に日よけを設置し、日光を防ぐ試みを行った
適切な資源の選択、設定	○	・現在使用している電球が使えなくなった時点で、順次、省エネ効果の高い電球を購入することを検討する。現状、電球の本数を減らして電力使用量を削減することで対応している。
環境管理責任者 評価		・青梅分室では、営業活動が活発になったことで電力使用量が増大した。また、三鷹オフィスを開所したことで、電力使用量は増えたが、本社の電力使用量の大幅削減により、全社的には目標値以上の削減率を達成出来た。

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

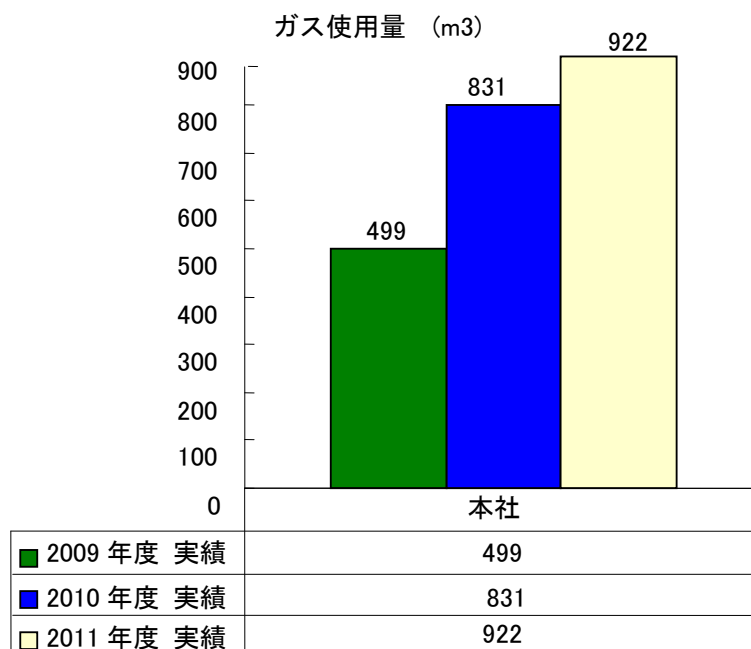
電力使用量(kWh)



8-1-2. ガス使用量の削減

環境活動計画 取組項目	取組結果	評価
室内温度調節の徹底	△	・ 猛烈な寒波のため、出社時や特に寒い日は部屋が暖まるまでに時間がかかり、結果としてガスの使用量が増えたと考えられる。
環境管理責任者 評価		・ 猛烈な寒波により、ガストーブの使用が多かったことが原因と推測される。ただし、ガスでお湯を沸かすことを廃止し、すべてポット使用したので、この程度の上がり方でおさまったと思われる。

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版



8-1-3. ガソリン使用量の削減

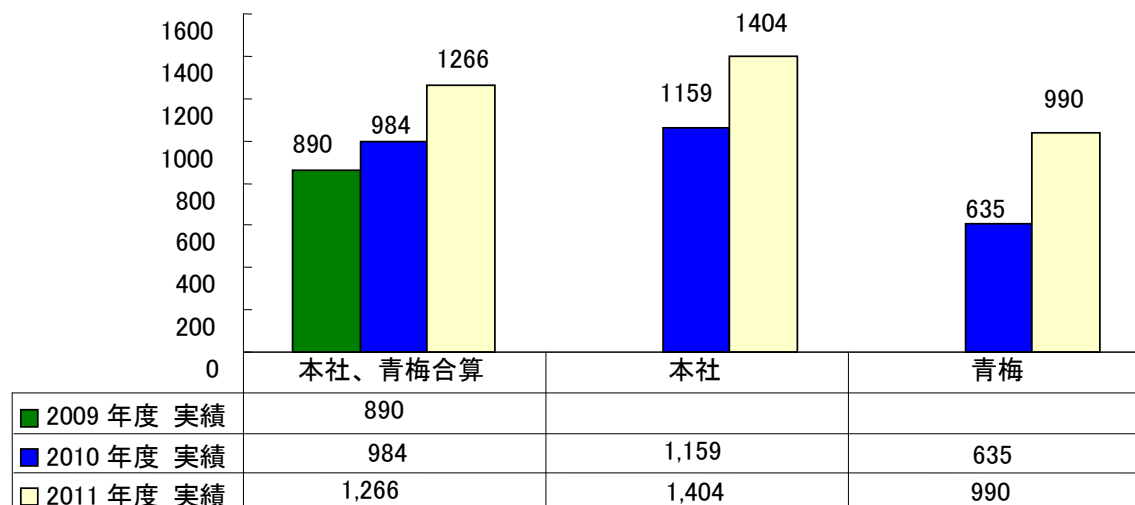
環境活動計画 取組項目	取組結果	評価
車両の点検整備の徹底	○	・車両を使用の度を実施。今後も継続して整備点検を行う。
エコドライブの実践	△	・今年の夏も強烈な暑さで、熱中症予防のためにも冷房が欠かせなかった。
適切な資源の選択、設定	○	・社員全員が公共交通機関、自転車で通勤している。

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

環境管理責任者 評価

・営業車の台数は増えていないが、使用頻度が増したことが、ガソリン使用量が増えたことに起因しているのではないだろうか。但し営業活動が活発になったためなので、環境面ではマイナスかもしれないが、会社の活動としてはプラスのことである。

社用車一台あたりのガソリン使用量



8-2. 上水使用量の削減

環境活動計画 取組項目	取組結果	評価
節水の徹底	○	・社員の意識が高まり、よく実施できていた。

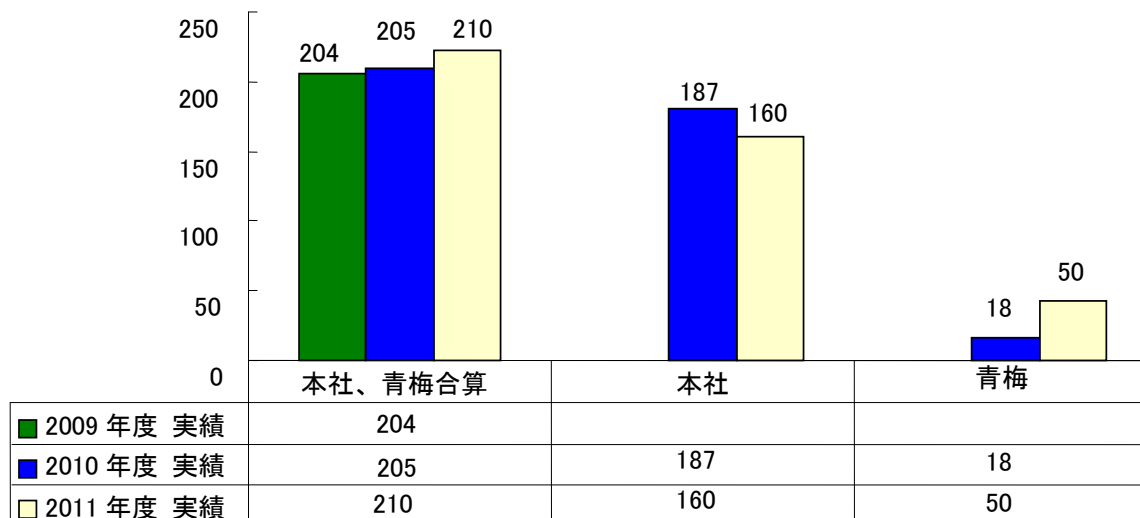
(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

環境管理責任者 評価

・青梅分室の水使用量が増えたが、本社の使用量は減っている。但し、青梅分室の水使用量は、一般家庭の水使用量と同程度のため、大きな問題とは言えないだろう。引き続き、社員皆が節水の意識を高めていくようにする。

* 三鷹営業所は賃貸オフィスのため、個別の上下水道の利用料は不明。

上水量(m3)



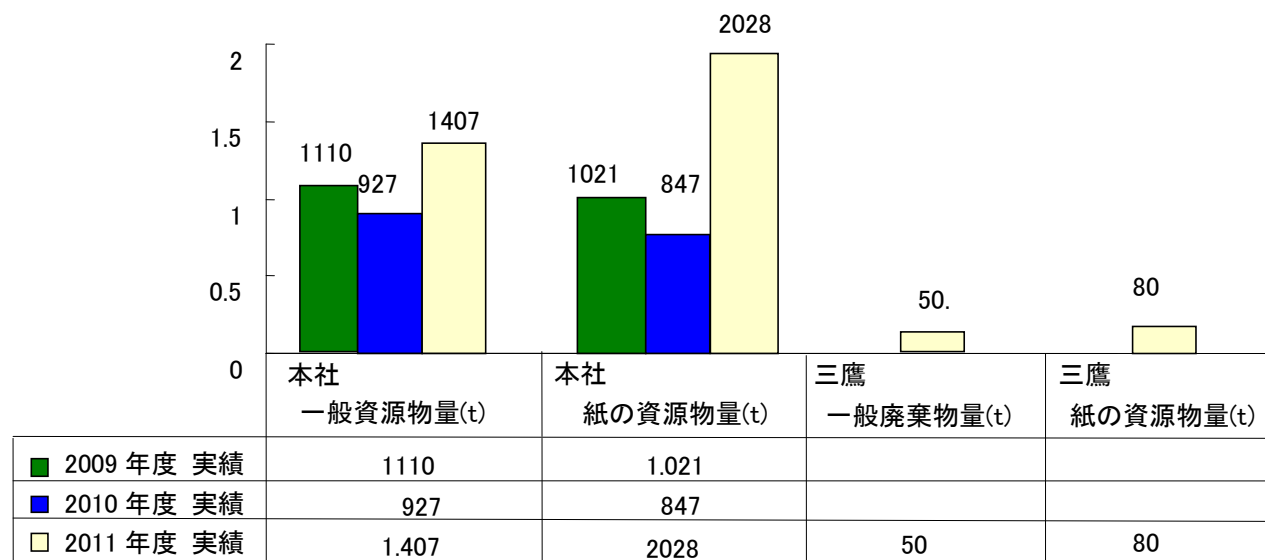
8-3. 廃棄物・資源物量の削減

環境活動計画 取組項目	取組結果	評価
分別の徹底	○	・社員皆、意識を持って分別していた。

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の徹底	△	<ul style="list-style-type: none"> ・社内文書に裏紙を使用することや、省インクモードでの印刷は、かなり徹底されてきている。 ・注文弁当に割り箸がついているため、マイ箸持参はなかなか実行されない状況である。自宅からのお弁当の場合は、マイ箸を持ってきている。
排出量の把握	○	<ul style="list-style-type: none"> ・部門責任者または、ゴミ出しをした人が廃棄物量を記録している。部門によって、業務のウィークリーレポートにゴミ集計欄を設け、記録忘れを防ぐ工夫をしている。
環境管理責任者 評価		<ul style="list-style-type: none"> ・本社の紙、段ボールの資源物が増加した。製造部門の出荷量が10倍にも増えたためである。紙と段ボールは再利用できる資源なので、きちんとリサイクルに出した。

廃棄物・資源物量(t)



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

8-4. グリーン購入

環境活動計画 取組項目	取組結果	評価
鉛フリーのはんだに移行する	△	・顧客からの依頼により、すべてを鉛フリーに移行できないが、移行可能なものについてはすべて移行した。
新しく作成する名刺には再生紙を利用し、再生パルプ率を明記するようになる。	○	・新しく作成する名刺には再生紙を利用し、再生パルプ率を明記するようになった。（但し、名刺作成は不定期）
新しい備品を購入する際に、環境への負荷を考慮した製品を購入する	○	・意識して環境への負荷を考慮した製品を購入するように心がけている。
社内の用紙は再生紙を使用する	△	・社内用紙の再生紙利用は、単価が高くなるため、まだ導入できていないが、環境に配慮された植林樹パルプを使用したものを使用している。
環境管理責任者 評価	・社内の配布物等は裏紙を利用することは徹底されるようになった。	

8-5. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービス

環境活動計画 取組項目	取組結果	評価
顧客への納品や製品（仕掛品や原材料等）の受け渡しの際の配送方法を可能な限り削減し、効率化する（共同配送便をできるだけ利用する。）	△	<ul style="list-style-type: none"> ・共同配送便では対応できない納品や原材料の受け渡しがあったため、共同配送便を利用できない場合があった。 ・原材料については、発注元よりすべて支給されるため、独自に環境に配慮した原材料を調達するのは現状難しい。

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

環境管理責任者 評価	<p>・昨年の震災の影響で納品や原材料の受け渡しが、共同配送便を利用出来ないことも多くなった。その影響で直接顧客のもとへ納品に行くことも増えてしまった。ただ、その機会を顧客との関係強化に繋げることも出来たと考えられる。</p>
------------	---

8-6. 社員への環境教育

環境活動計画 取組項目	取組結果	評価
社員が集まる場所に環境コーナーを作成し、ポスターの掲示、関連書籍の書架を設置する	△	<p>・エコアクション 21 情報コーナーに、引き続き、環境方針、毎月のエネルギー使用量、CO2 排出量のグラフ、廃棄物・資源物量を掲示し、社員が社内での環境活動に関心をもてるようにした。</p>
環境活動計画に関連する啓蒙ポスター、ステッカーを作成、掲示する	△	
環境に関するコラム、クイズなどの通信を発行する	×	
月毎のエネルギー使用量をグラフ化、掲示する	×	
社員の環境関連資格取得の支援をする	×	<p>・今年度は具体的に、社員に資格取得の支援の呼びかけを行えなかった。今後、取得できる資格を社員が知り、資格取得の意欲を引き出すとともに、資格取得への道筋を示していく必要がある。</p>
環境管理責任者 評価	<p>・エコ活動は社内では「行ってあたりまえ」という日常的なものになってきた。引き続き、日常生活でエコ活動を行うのではなく、日常生活そのものがエコ活動になるように努力していきたい。</p>	

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

8-7. 社外への働きかけ

環境活動計画 取組項目	取組結果	評価
環境方針を自社 Web サイトに掲載する	○	・引き続き、当社 Web サイトに当社の環境方針、環境目標、環境レポートを掲載した。
環境関連情報を自社 Web サイトに掲載する	△	・Web サイトでは、エコアクション 21 について説明し、エコアクション 21 の活動を知らせたり、環境負荷の低減への取組み方法を紹介したりしている。工夫次第で、環境活動に関する Web コンテンツは広げていけるので、興味を引く内容を今後も考え、環境保全活動を社外に向けて発信していく場として、用いていきたいと思う。
環境保全活動について関連会社、取引会社に公表紹介する	×	・取組みが十分できなかった。今後の課題とする。
正式書類以外は、社外から当社への文書に関しても裏紙や両面印刷を薦める	×	・取組みが十分できなかった。今後の課題とする。
シンガポールの関連会社にも環境活動計画に参加してもらおう	×	・取組みが十分できなかった。今後の課題とする。
環境管理責任者 評価		・当社 WEB サイトに環境活動報告のページを設けているが、社外より環境活動報告ページへのアクセス数が毎月一定数ある。地味な活動ながらも、情報発信に努めていく。

8-8. その他活動

◆三鷹営業所の窓に遮光型のカーテンをかけた。

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

夏は日光を遮ることによって、冬は外界の冷たい空気が直接部屋の温度を下げないことで、冷房や暖房のエアコンの効率をあげることが出来た。

9. 次年度を取組内容

今年度の取組内容を継続して取り組んでいく。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規の違反・訴訟等は、当社の環境関連法規制一覧表にてチェックした結果、過去および現在において一切ありませんでした。また、創業以来、関係機関等からの法規制違反の指摘、近隣からの指摘・苦情もありません。

なお、下記法規制等が当社に該当いたします。

■法律

環境基本法

循環型社会形成推進基本法

RoHS 指令

下水道法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

道路運送車両法

消防法

労働安全衛生法電離放射線障害防止規則

■条例

【東京都】

東京都健康と安全を確保する環境に関する条例(東京都環境確保条例等)

【武蔵野市】

武蔵野市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例

【青梅市】

青梅市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

2011 年度 活動報告 (総括)
環境負荷の低減
●CO2 排出量について
今年度は、全社合算での CO2 排出量は増えてしまった。 但し、本社は目標に届かなかったものの、前年に比べて排出量の削減が出来た。 CO2 が増えた要因として、新たに三鷹オフィスを開所したこと、青梅分室の生産活動が活発になったことで、全体的な使用量が増大してしまったことと思われる。
●電力使用量について
青梅分室では、営業活動が活発になったことで電力使用量が増大した。また、三鷹オフィスを開所したことで、電力使用量は増えたが、本社の電力使用量の大幅削減により、全社的には目標値以上の削減率を達成出来た。節電が一番わかりやすく、実施しやすいエコだと思うので、これからも節電は心がけるようにしたい。
●ガス使用量について
冬の寒さが厳しかったせいで、暖房のためのガスの使用量があがってしまったと考えられる。 (1月から4月にかけて使用量がはねあがっていることから推測される。) ウォームビズの更なる推進が必要である。
●ガソリン使用量について
本社、青梅の営業車の使用頻度が増したことで、ガソリン使用量が増えた。 但し、営業活動が活発になったことなので、決して悪いとばかりは言えない。エコドライブの推進など、社員への教育を考慮しながら、営業活動を進めていく。
●上水使用量について

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

全社員数が増えたことで、水道使用量が増えたと推測される。

但し、本社では水道使用量は減少し、目標値以上の削減を果たしている。今年度より開所した三鷹オフィスは賃貸オフィスのため水道使用量は不明だが、節水は全員が心がけるようにしている。引き続き、社員皆が節水の意識を高めていくようにする。

●廃棄物・資源物排出量について

製造部門の出荷量が大幅に増えたことにより、紙と段ボールの資源物量が増大した。

紙や段ボールは武蔵野市、青梅市の指導に従って資源としてリサイクルに回した。

今後も業績が拡大するとこういった事象は起こると思われるので、きちんと分別しリサイクルに回していくことを実践していく。

グリーン購入

衛生用品や事務用品など、環境負荷の低いものに替えた。コピー用紙は植林木パルプに切り替えた。その他事務用品も再生原料を使用したものを優先的に購入するように心がけている。引き続き、より環境負荷の低いものを選択、購入していく。

自らが生産・販売・提供する製品及びサービス

昨年の震災の影響で納品や原材料の受け渡しが、共同配送便を利用出来ないことも多くなった。

その影響で直接顧客のもとへ納品に行くことも増えてしまった。ただ、その機会を顧客との関係強化に繋げることも出来たと考えられる。

社員への環境教育

エコ活動は「行ってあたりまえ」という意識が社内に根付いてきたが、エコアクション認証取得後、定期的な環境教育が十分実行できなかった。改善提案と合わせ、定期的に確認する仕組みを構築していきたい。

社外への働きかけ

環境保全活動を当社 Web サイトで公開し、環境保全活動に対する Web コンテンツの充実を図る。

社外に対して特に Web を通して環境コミュニケーション活動の場を提供し、環境保全活動の意識啓蒙、情報発信に努める。

環境経営システム

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2011 年度版

PDCA サイクルに基づいて目標を明確にし、結果を適切に評価できる仕組みを構築し始めた。引き続き、社内文書管理システムなどを活かして、無駄な用紙の削減を図り、効率的かつ効果的な環境活動を進めていく。

代表者による全体の取組状況の評価

日常的な環境負荷の低減に対する取り組みは、社員全員に浸透してきた。

今年度は残念なことに目標達成は出来なかったが、その裏には会社の業績が伸びたというプラスの面もあるので、これであきらめることなく、引き続き環境保全活動に社内全体で取り組んでいきたい。

中でも本社の電力量の大幅削減はクラウドコンピューティングを活用して、サーバーを撤去したことが大きな要因と考えられる。こういった当社ならではのエコ活動が他にも無いか、検討する余地があると思う。

■課題点

1. 社外への働きかけの具体的な取り組みについて、社内アンケートなどを通して社員の意見を集め、今後の活動に活かす。

以上